



子どもの生活の中心は学校ですが、集団の中で生きづらさを抱えている子どもたちがいます。そんな子どもたちへの対応の仕方のヒントがたくさん！！

『学校の中の発達障害』

「多数派」「標準」「友達」に合わせられない子どもたち」

著者：本田 秀夫（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室教授・同附属病院子どものこころ診療部部长。特定非営利活動法人ネスト・ジャパン代表理事 精神科医師 医学博士）

発行：SB クリエイティブ新書 価格：990円

『はじめに』の中に、このような質問があります。（本書を読めば答えがわかる！）

みなさんは「学校」をどんな場所だと思っていますか？

- Q1 学校とは _____ 場所である
- Q2 学力とは _____ である
- Q3 教育で大事なものは、子どもの _____ を伸ばすこと
- Q4 発達障害の子は _____ から、特別支援教育を利用する
- Q5 共生社会とは、_____ な人たちがお互いにリスペクトする社会

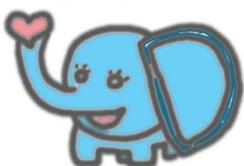
「多数派」「標準」「友達」に合わせるべき《学校》で発達障害の子はどう折り合いをつけていくか——
臨床経験30年以上・発達障害の専門家がじっくり解説

Qの答えはP283

息子の余暇活動は、意外と充実しています。まずはドライブ。目的の地を温泉（スーパ―銭湯）とし、県外へも平気で出かけます。それから、体を鍛えること。公共のトレネーグループで筋トレをしたり、バドミントンセンターで楽しんで、10kmほど走りに行ったり。最近、映画鑑賞も余暇活動に加わりました。複雑な人間関係や話の流れは理解できないので、「よく分からなかった」と首を傾げながら帰宅することもありますが、なぜ映画を見に行くのかは謎です。一人遊びができるなんて成長したなあと思っていたのですが、本人曰く「誰も遊んでくれないから」とのこと。一人の方がトラブルもなくていいと考えていることは、本人には言えません。（亜）

ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: damboclub@hotmail.co.jp
お振込口座: 伊予銀行 小栗支店 普通 1321818
ゆうちょ 記号 16170 番号 25583311
ダンボクラブHP → <https://www.dunboclub.com/>



ダンボ通信

☆160号☆
発行日: 2022年11月

ダンボクラブについて

高機能自閉症、アスペルガー症候群という言葉を知っていますか？
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか知っていただくために作りました。

★★★活動報告★★★

★保護者会&アドバンス(SST) 10/22(土)★
保護者会では座談会を実施しました。小学生の保護者の方から成人の子どもをお持ちの方まで、幅広い世代の保護者が集まりました。学校生活についての話や、コロナ禍での子どもたちの過ごし方についてなど、いろいろなお話や情報交換ができました。

★成人当事者会「ワンピース」10/16(日)★
午前中は茶話会を実施しました。午後は、SST、ポッチャなどを実施しました。ポッチャは1年ぶりで人気のプログラムなので、盛り上がりました。また、年に2回発行している『びみす新聞』も発行しました。

